

令和7年度 第2回 郡山小学校 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年7月4日（金） 19:00 ～ 20:30

2 場 所 2F コンピュータ室

3 あいさつ（学校長、委員長）

この地方も梅雨明け。連日暑い日が続いているが、熱中症には気をつけてください。水泳指導は、見守りボランティア等地域の支えで大きな事故なく進んでいる。

4 協議内容

（1）リーディングDXスクール事業（文部科学省事業）について

⇒校長より、指定校の取組紹介（リーディングDXスクール事業 Web サイトより動画）と合わせ、本校の現状について報告。

・5月12日（月）本校授業公開（天栄中学校区各学校）

→京都教育大学大久保先生による指導助言

・一人1台端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を図る

○質疑

・指定校として、教育委員会からのサポートはどれぐらいあるのか。

・先日報道された事案について、本事業との関係はどうか。

→今回の事案については、どの学校でも起こりうるものとして、本校でも事案を共有し同類の事案が発生しないよう努めている。

・一人1台端末を活用した学びが進むが、家庭での対応はどうか。

→学ぶ内容というより学び方が変わってきている。「一斉授業で習ったことの定着」から、「学んだことの説明」や「自分の学びを振り返る」ことへと学びの質の転換が進む中で、端末の活用を進めている。

・低学年では、「書く」活動も大切に思うが。

→デジタルとアナログの二項対立ではなく、デジタルとアナログの融合を目指す。今後も「書く」活動は引き続き行いつつ、デジタルの強みを活かした「個別最適な学び」や「協働的な学び」の一体的充実を図りたい。

・教育DXを進める中で、一斉授業と比べて効果に差は見られるか

→授業の「振り返り」について、端末に打ち込むようになり、以前よりも書く

分量が増える傾向が見られる。

- ・リーディング DX スクール事業はどのような経緯で始まったのか
→学習指導要領改訂の中で、教育内容を社会状況の変化に対応させるため「令和の日本型教育」を推進する考えのもとこの事業が推進されている。

(2) 郡山小学校の取り組みについて

⇒教頭より 5 月以降の学校行事や教育活動等についてスライドにて紹介

○質疑

- ・交通安全教室について、道路交通法の改正で自転車のルールが厳しくなっているが、その辺りの指導もあるのか
→乗り方指導の前に、交通ルールについての指導の中で触れてもらっている。
- ・中 1 は、初めての自転車通学の際、よく荷造り用のゴムが車輪に絡まり苦勞する。このようなことも指導しておくといよい。
- ・緊急時引き渡し訓練について、今回は訓練だが、保護者によってはすぐに学校へ来られない場合もあると思われるが、どのように対応するのか
→訓練では、メール発出後 1 時間経過時点で迎えのない場合各自で下校させるが、緊急時は保護者に連絡がつくまで学校待機を想定している。
- ・緊急時学校は、施設等の状況把握や授業再開に向けた取組等を進める必要がある。自治会や地域のサポートがこのような場合必要ではないか。
- ・「顔見知りの人」の存在が安心につながる。日ごろから地域の人々も学校へボランティア等で入っているといざという時良い。

5 報告事項

- ・今後の主な行事予定、危機管理マニュアルについて確認

6 その他

- ・次回（第 3 回天栄中学校区拡大学校運営協議会）日程等については、詳細が決まり次第案内通知を発送
⇒天栄中学校区の今後の動きを踏まえ、今回の拡大運営協議会での議論内容を検討している。

7 教育委員会より

- ・リーディング DX スクール事業について、今後市内全域へ広げることも考えられている。学校運営協議会で機会があれば実際の授業を見る機会が持てるとよい。